

令和3年度版 光村図書 中学校「美術」
題材内容一覧，観点別評価規準例の見方

この一覧表は，年間指導計画の作成に必要な下記の内容について記載しています。
生徒の学習状況に合わせて，年間指導計画を作成する際にお役立てください。

①分野，領域

分野は「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」，領域は「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」の分類を示しています。

②題材名，配当時間

教科書のページ数，題材名，配当時間を記載しています。配当時間は，生徒の学習状況に応じて柔軟な取り扱いができるよう，幅をもたせて設定しています。

③学習活動

各題材の学習活動の流れを示しています。教科書紙面上では「表現」及び「鑑賞」のアイコンを示して，学習の流れをわかりやすく表記しています。

④目標

各題材の目標は，表現中心の題材では「表現」に関する目標と「鑑賞」に関する目標の2項目，鑑賞中心の題材では「鑑賞」に関する目標の1項目を記載しています。教科書掲載の各題材の目標と同じものです。

⑤観点別評価規準例

表現中心の題材では3観点，6項目の評価規準例を，鑑賞題材では3観点，3項目の評価規準例を掲載しています。記載しているのはそれぞれ「おおむね満足できる状況」(B)の評価規準です。

省略した表記はそれぞれ次のようになります。

「知」＝「知識・技能」の知識に関する評価規準

「技」＝「知識・技能」の技能に関する評価規準

「発」＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準

「鑑」＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準

「態表」＝表現の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

「態鑑」＝鑑賞の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

⑥学習指導要領との関連

平成29年告示の学習指導要領との関連を示しています。〔共通事項〕については，全ての題材に共通して当てはまることからこの一覧表では省略しています。

⑦道徳との関連

道徳科の22の内容項目から関連するものを示しています。

⑧他教科との関連

教科書紙面で他教科との関連についての「コラム」を掲載している題材を示しています。

分野	領域	② 題材名 (配当時間)	③ 学習活動	④ 目標		⑤ 観点別評価規準例				⑥ 学習指導要領 との関連		⑦ 道徳との関連 (関連する 内容項目)	⑧ 他教科との 関連		
				目標		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				A表現	B鑑賞
				表現	鑑賞	知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)				
		P.10~13 見つけ， 感じ取り， 描く (2~4時間)	○身近なものもつ美しさやよさに関心をもち，身近なものを見つめ，感じ取った特徴や，ものに託した自分の思いなどをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに形や色，用具の使い方などの構想を練る。 ○構図や色などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取り，話し合う。	身近なものを見つめ，感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて，材料や用具を工夫して描く。	身近なものを描いた作品を鑑賞し，さまざまな表現の工夫を感じ取る。	形や色，質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴をもとに，身近なものを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分のあらわしたいものに合った材料や用具を選択し，意図に応じて工夫してあらわしている。	身近なものを見つめ，感じ取った特徴や，ものに託した自分の思いなどをもとに主題を生み出し，全体と部分との関係などを考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。	友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく身近なものを描く表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく身近なものを描いた作品からさまざまな表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア) (イ)	(1)ア(ア)イ (ア)		